

2007年度〈キャリア教育〉お菓子の商品開発プロジェクト

【進行スケジュール】

- 4月 4月12日／ロッテ担当者からお菓子の開発についての全体講義
(お菓子の開発? まだまだよくわかりません)
- 5月 商品コンセプトシートによる開発授業
(今まで気にしていなかったことに目を向けて、
新たな発見をする努力をしました)
- 6月 ロッテから先生方の商品コンセプト案について、パッケージデザインを創作。
みんな、どのように進めればカタチになるのか、イメージが掴めたようです。
クラスプレゼンに向けて、ダッシュ! チームワークでイメージボード作りに専念。

6月28日／各クラスにて班ごとに5分間のプレゼンテーション。自分達の意見をわかりやすく相手に
伝わるようプレゼンしました。
- 7月 7月19日／各クラス優秀チームによるプレゼンテーション。
パワーポイントを使い、よりわかりやすく頑張りました。
- 9月 9月9日／文化祭にて優秀チームのプレゼンテーション。



【生徒感想文一覧】

3年1組 宮原捺実

プレゼンは緊張したけど、今まで時間をかけて作ってきたアイデアを完成させ、思いを伝えられたので良かったです。みんなが1つにならなければできないチームワークを学ぶことができました。

3年2組 私市梓

最初はゼロからのお菓子作りというのは、難しいものと感じ、途中でやる気もなくなっていました。そして、自分達の案が受け入れられないんじゃないかと何回も不安になりました。でも完成が近づくにつれてみんなの結束力が強まり、自分にとって良い商品ができたと思います。楽しんでやるのが一番だと感じました。

3年5組 平野悟

うまくプレゼンできなかったと思いますが、ベストはつくしたので良かったです。男女みんなで協力して作業するとは今までなかったので良い経験になりました。

3年4組 松本 知之

話し合いのときはうまくまとまらず、発表までに間に合うか不安でしたが、最後は上手くできました。改めて、色々な人の考え方があるのだと感じました。ひとつのお菓子里にたくさんの考えを出し、みんなでひとつにまとめたものが素晴らしい物を生み出すんだとわかりました。

3年3組 小堀 顕

ひとつの商品を作る苦勞と出来た達成感を味わうことが出来、夢のようでした。また、ひとつの商品を作るにはこれ以上の苦勞を重ねているんだと改めて実感しました。

将来役に立つ経験をさせて頂き本当にありがとうございました。

3年6組 豊田奈津子

自分の思っていることがくだらないことでもいいか否定しないでどんどん案を出していくことでアイデアなることを学びました。今回のプレゼン自分の意見をいうことで、少し自信が持てるようになりました。機会を与えてくださってありがとうございました。

3年7組 田中清美

初めて体験したことだったので、「こんな世界もあるのだなあ」と視野を広げることができました。自分達で何かを1から作ることはとても楽しかったです。また機会があったらやってみたいです。



【キャリア教育を实践して】

佐野和之教諭

今回ロッテ商品開発部の方々の全面的な協力の下、実践することができた「お菓子の新商品を作ろう!」という授業には以下のような想いが込めてありました。

- 1/ 親、教員以外の大人との接触の場を学内につくること
 - 2/ 世の中全ての物が教材になるということに気づかせること
 - 3/ 他人の意見が聞け、自分の意見を主張するコミュニケーションの場をつくること
- 現在の教育に不足しがちな三大栄養素を取り入れ、さらに生徒達にとって「面白い」と自発的動機を促せる企画にしました。ロッテの方々をはじめ、多くの大人の参加によって、生徒達は様々な学びを得ることができたと思います。

【ロッテより】

(株)ロッテ商品開発部 吉田宏 執行役員

中学生諸君のエネルギーや自由な発想力を本当に羨ましく感じました。この経験を皆さんのこれからの人生にも役立てていただければ、幸いです。

ロッテ・フルーツガム〈ブルーベリー・梅・キーライム〉

